

研究・調査報告書

報告書番号	担当
190	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
In-utero exposure to smoking, alcohol, coffee, and tea and risk of strabismus. 子宮内での喫煙、アルコール、コーヒー、紅茶の暴露と斜視のリスクについて	
執筆者	
Torp-Pedersen T, Boyd HA, Poulsen G, Haargaard B, Wohlfahrt J, Holmes JM, Melbye M.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Epidemiol. 2010 Apr 15;171(8):868-75. Epub 2010 Mar 25.	
キーワード	
飲酒、喫煙、斜視	
<p>要 旨</p> <p>目的： 将来、人口ベースのコホート研究で、著者らは、母親の喫煙、アルコール、コーヒーの消費量、紅茶が子宮内暴露を通して影響する斜視のリスクについて検討した。</p> <p>方法： 斜視を有する可能性のあるものとして国家記録を通じデンマーク国立出生コホートの子どもたちの医療記録を検討した。相対リスク推定値は、誕生年齢、社会階級、出生時の母親の喫煙、母親の出産年齢、母親のコーヒーと紅茶の消費量は年齢調整を行った。</p> <p>結果： 著者らは、1996年から2003年の間に生まれた96,842例のデンマークの子供の追跡で1,321例の斜視の子供を同定した。母親の喫煙は一日あたりの喫煙本数が子供の斜視を大幅に増加させるリスクとして関連していた(5本未満/日、相対リスク(RR) = 0.95、95%信頼区間(CI) : 0.80-1.14; 5本以上10本未満/日 : RR = 1.38、95%信頼区間 : 1.12-1.70、10本以上/日 : RR = 1.90、95%信頼区間 : 1.57-2.30)。またニコチンによる代替療法は、斜視のリスクと関連していなかった(RR= 1.22、95%信頼区間 : 0.92-1.61)。母体のコーヒーや紅茶の飲酒量は、斜視のリスクに関連していなかったことに対し、母親の軽い飲酒量は逆に、斜視のリスクと関連していた。</p> <p>結論： 妊娠中の喫煙は、子供の斜視のリスクの増加に関連していた。しかし軽い飲酒であれば斜視のリスクを減少させることがわかった。</p>	